

令和5年度 会派調査研究報告書

(視察先 1 か所につき 1 枚)

会派名	新生クラブ		
出席者	功刀正広・守屋久・金井洋介・秋山祥司・渡邊愛彦		
事業名	持続性の高い中小規模水道事業へのシステムについて		
事業区分	①研究研修	②調査	

1. 荏崎市での課題と研修・調査の目的

水道事業が抱える課題として、1.浄水場処理施設・配管の老朽化。2.簡易水道の維持・持続。3.技術者の減少。4.飲料水供給施設の運営維持。5.水質悪化の問題など多くの問題があげられる。 このような問題を解決するには、民間事業者のノウハウを参考にして取り組んでいく必要があると考え今回の研修を実施した。

2. 実施概要

実施日時	令和5年11月10日（金） 14：30～16：00		
視察先	三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社		
担当部局	経営企画室・分散型水道プロジェクト		
報告内容	三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社の概要 所在地：東京都中央区日本橋本石町1.-2-2 三菱ケミカル日本橋ビル 設立：昭和60年11月 資本金：3億7,350万円 従業員数：492人 高密度電気探索放射能探査による地下水探査調査をはじめ地下水解析分析、浄化装置の設計・設置、そして遠隔監視による維持管理など水源開発に始まるシステム工事、メンテナンス委託の業務を行う会社である。 地下水膜ろ過システムに力を入れ、次世代型水道システムとして採用が進んでいる高度な膜ろ過処理により、地下水を安全・安心な飲料水に変える分散型水道システムを提案している。また、水質の安全性やコスト面だけでなく、災害時など非常時の水ライフラインの確保で事業継続（BCP）を目指し、災害時における地域住民への給水サービスで貢献することを念頭に様々なメリットを提供している。また、地下水膜ろ過システムで公共水道料金の削減を図ることも提案している。		

1. 運営状況

三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社ではこれまで、水源の2元化を自治体に導入してきた実績があり、東京都世田谷区をはじめ、杉並区、調布市、狛江市、松戸市、浦安市などで災害時の飲料水確保を最重要課題として、地下水飲料化システムを導入してきた。また、人口減少に伴う水処理施設のダウンサイジングなど、10～15年先を見据えた新たな水サービスを提案している。高齢化による浄化装置維持が困難になることや人口減少による維持経費の確保やクリプト、病原菌の健康被害防止策や維持管理が簡単な浄水器の開発にあたり、小規模簡易水道及び集落向け「分散型水道」の導入を進めてきた。

2. 考察（これらの取り組みを韮崎市にどう活かせるか）

水事業を持続していくうえで、分散型水道や水源の開発は莫大な管路更新費用や人口減少問題に有効であると感じた。今後さらに水事業を将来にわたり維持していくための調査・研究に努めていく。



※写真等がある場合は添付すること